

JR四国グループ

中期経営計画2025の達成に向けた取組み

【2024年度第4四半期 報告書】

2025年6月17日

四国旅客鉄道株式会社

目次

本報告書は2020年3月に国土交通大臣より受領した指導文書に基づき、四半期毎に実施される国土交通省との検証結果を報告するものです。

1. 2024年度 主要施策KPIの達成状況

- (1) 主要施策KPIについて
- (2) 検証項目一覧
- (3) 2024年度第4四半期の検証結果（総括）
- (4) 2024年度の検証結果（総括）
- (5) 2024年度第4四半期の実績等

2. 2025年度 主要施策KPI等

- (1) 主要施策KPIについて
- (2) 検証項目一覧
- (3) 2025年度のKPI・KGI

1. 2024年度 主要施策KPIの達成状況

(1) 主要施策KPIについて

中期経営計画2025の施策のうち、2024年度に取り組む主要なものについて、KPIとKGIを設定し、本検証の対象としました。

※KPI（Key Performance Indicator）とは、最終的な目標（KGI：Key Goal Indicator）を達成するための過程を計測する中間指標です。

(2) 検証項目一覧

	KPI項目
鉄道運輸収入の安定的な確保	<ul style="list-style-type: none"> ① 鉄道運輸収入の確保 ② チケットアプリの定着・拡大 ③ 観光列車を活用した特別企画の実施、情報発信による流動拡大 ④ 利便性向上によるお客様満足の上昇 ⑤ 「四国のお宝」の更なる充実による観光振興
非鉄道事業における 最大限の収益拡大	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 連結売上高の確保 ⑦ (株) JR四国ホテルズの売上高 ⑧ TAKAMATSU ORNEのテナント売上高 ⑨ 四国キヨスク(株)の売上高
生産性向上・その他	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ コスト削減の取組み

1. 2024年度 主要施策KPIの達成状況

(3) 2024年度第4四半期（1月～3月）の検証結果（総括）

- 検証項目10項目のうち、8項目でKPIを達成、2項目で一部達成となりました。
- 「鉄道運輸収入の安定的な確保」と「非鉄道事業における最大限の収益拡大」については、あなぶきアリーナ香川での大型イベント開催にあわせた臨時列車の運転や、閑散期の利用促進を図るおトクなフリーきっぷの発売、ものがたり列車の特別運転、「TAKAMATSU ORNE」や「JR松山駅だんだん通り」における継続的なイベント開催などに取り組み、収益の確保・拡大に努めました。また、車両のリニューアル工事や駅へのデジタルサイネージ導入を進めることでより便利に、快適にご利用いただけるように努めています。これらの結果、多くの項目でKPIを達成しました。
- 「生産性向上・その他」については、グループ一体でコスト削減に取り組み、KPIを達成しました。

1. 2024年度 主要施策KPIの達成状況

(4) 2024年度の検証結果（総括）

- 検証項目10項目のうち、7項目でKGIを達成、2項目で一部達成、1項目で不達成となりました。
- 「鉄道運輸収入の安定的な確保」と「非鉄道事業における最大限の収益拡大」については、瀬戸大橋線ご利用3億人キャンペーンやものがたり列車10周年記念イベントをはじめ、おトクな商品の設定、多客期の特急列車指定席拡大、インバウンド需要の獲得、「TAKAMATSU ORNE」や「JR松山駅だんだん通り」における継続的なにぎわいづくりなど各種施策にグループ一体となって取り組み、収益の確保・拡大に努めました。これらの結果、一部目標に届かなかった項目があったものの、多くの項目でKGIを達成しました。
- 「生産性向上・その他」については、グループ一体でコスト削減に取り組み、KGIを達成しました。
- 2025年度は、中期経営計画2025の集大成として更なる利便性の向上、生産性の向上に資する取組みを進めるとともに、収益拡大・利益率向上に向けた各種施策をグループ一体となって展開してまいります。

1. (5) 2024年度第4四半期の実績等

① 鉄道運輸収入の確保

当社の収益において最大の割合を占める鉄道事業の収益確保に取り組みます。

	4Q KPI		4Q 実績		達成率
鉄道運輸収入	定期	10.7億円	定期	11.2億円	104.5%
	定期外	43.5億円	定期外	46.4億円	106.7%

◆ 検証結果

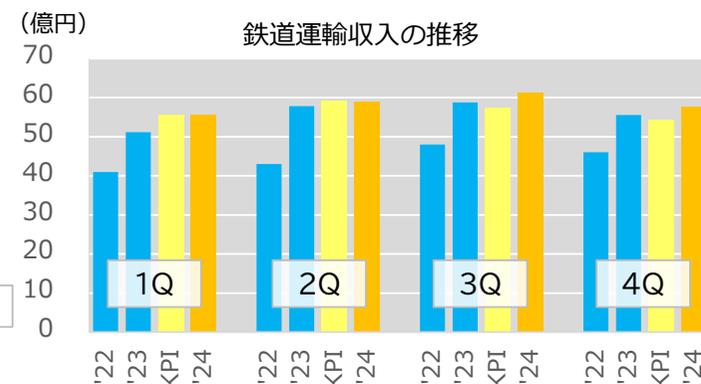
- ・あなぶきアリーナ香川の開業により、大型イベント開催時は四国内外から多くのお客様に列車をご利用いただきました。臨時列車の運行や車両の増結対応を実施し、需要の確保を図りました。
- ・チケットアプリ「しこくスマートえきちゃん」について、特急列車が乗り降り自由なフリーきっぷをおトクな価格で発売することで、閑散期の利用促進を図りました。
- ・インバウンドのご利用が多い特別企画商品について、オンライン旅行代理店Klookと連携し、デジタルパス発売を開始することで利便性向上を図り、さらなるご利用増に努めました。
- ・駅スタンプアプリ「エキタグ」を高徳線、鳴門線、徳島線に拡大し、記念スタンプラリーを開催することで四国内の鉄道周遊拡大に繋がりました。
- ・これらの取組みにより4QのKPIと2024年度のKGIを達成しました。

訪日外国人向けパス（ALL SHIKOKU Rail Pass）の販売枚数は、年度合計17,350枚（対前年136.8%）となりました。

◆ 今後の取組み

- ・2025年度は、「中期経営計画2025」の集大成の年度として、各種施策を着実に積み重ねることで収入の確保及びさらなる上積みを図ります。

2024年度KGI	《達成》
鉄道運輸収入226億円	
(実績233億円)	



② チケットアプリの定着・拡大

2023年度から本格稼働したチケットアプリのご利用の定着・拡大に取り組みます。

	4Q KPI		4Q 実績		達成率
取扱収入割合	定期	20.0%	定期	21.8%	109.0%
	定期外	8.0%	定期外	6.5%	81.3%

2024年度KGI			《一部達成》
取扱収入割合	定期	14.5%	(実績17.2%)
(通期)	定期外	6.5%	(実績5.6%)

◆ 検証結果

- ・4Qより、ビジネス層を意識した告知物デザインへの変更を行ったうえで、チラシ・ポスターとともにWebやTVCM、各種イベントでの認知拡大や利便性アピールに取り組みました。結果、定期は4QのKPIと年間のKGIを達成しましたが、定期外は磁気券からの移行が想定ほど進まず、KPI/KGIは未達成となりました。
- ・閑散期の2月限定で、価格面での訴求及び需要喚起を目的に「スマえき(か)しこく1日フリーきっぷ」を発売しました。このきっぷを購入されたお客様のうち、半数が新規に会員登録していただいたお客様であり、また、このうち2割近くのお客様には他の商品もご購入いただいている等、アプリの移行拡大に向け、一定の効果がありました。

◆ 今後の取組み

- ・2024年度秋に実施したアンケート結果では、アプリをご存知のお客様の割合が9割を超えた一方、「知ってはいるが、利用したことがない(=従来通りの磁気券を利用している)」方が5割以上いらっしゃるため、引き続き、アプリへの移行に魅力を感じていただける商品の造成や、利便性のPRに努めてまいります。



1. (5) 2024年度第4四半期の実績等

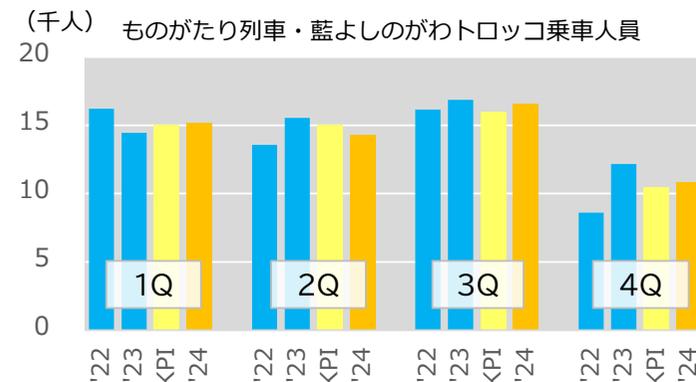
③ 観光列車を活用した特別企画の実施、情報発信による流動拡大

魅力的な観光列車やトロッコ列車の運行により、四国への誘客促進や鉄道のご利用促進に取り組みます。

4Q KPI		4Q 実績	達成率
観光列車乗車人数	10,500人	10,812人	103.0%

- ◆検証結果
 - ・バレンタインイベントや、〇万人乗車達成記念イベント、菜の花や桜が見える区間で徐行を行う特別運転などを実施することで多くのお客様にご乗車いただきました。
 - ・また、台湾の旅行会社による多くの貸切運転を実施できたこと、夜明けのものがたりで高知ならではの体験ができる特別運転を企画・実施したことがKPI達成につながりました。
 - ・3列車のアテンダントが合同で研修を実施し、課題の共有を行ったり、よりよい接客や企画について学んだりすることでサービスレベルの維持・向上に努めました。
 - ・藍よしのがわトロッコではトイレの洋式化とWi-Fi設置で設備の改善を行い、国内の旅行会社への働きかけによる団体利用の拡大で乗車率が前年を上回りました。
- ◆今後の取組み
 - ・2025年度は認知度向上と誘客促進を目的に、作成した記念動画や記念サイトを活用して各列車への導線を作ることで乗車率の維持に努めます。
 - ・2024年度に実施した特別運転を検証し、内容や販売方法等ブラッシュアップさせた特別運転を企画することで、列車の認知度向上を図ります。

2024年度KGI **《達成》**
観光列車乗車人員 56,500人
(実績 56,842人)



④ 利便性向上によるお客様満足の上

お客様満足の向上を目指し、車両リニューアルのほか、各種サービス・設備の導入拡大に取り組みます。

4Q KPI		4Q 実績	達成状況
デジタルサイネージ導入拡大 (11駅)	1200型車両リニューアル工事完了 (1両)	計画どおり実施済み	○

- ◆検証結果
 - ・音声と映像で列車の運行情報をお知らせできるデジタルサイネージを11駅に整備しました。また、お客様の声を反映した表示イメージの変更による視認性向上を図ることで、利便性向上に取り組みました。
 - ・1200型（ローカル気動車）は計画どおり1両のリニューアル工事を完了しました。（営業運転開始は3月26日）
- ◆今後の取組み
 - ・サービス改善アンケートを活用し、お客様満足の向上に努めます。
 - ・デジタルサイネージの新規導入は、2024年度で完了しました。
 - ・快適にご利用いただけるよう、来年度も車両のリニューアル工事を進めていきます。

2024年度KGI **《達成》**
車両リニューアル工事の完了、
各種サービス・設備の導入拡大



デジタルサイネージ / 1200型 リニューアル車両

1. (5) 2024年度第4四半期の実績等

⑤ 「四国家のお宝」の更なる充実による観光振興

四国の地域資源・文化資源を掘り起こし、地域と協働して観光素材へ磨き上げ旅行商品として販売することで、観光による地域活性化に取り組みます。

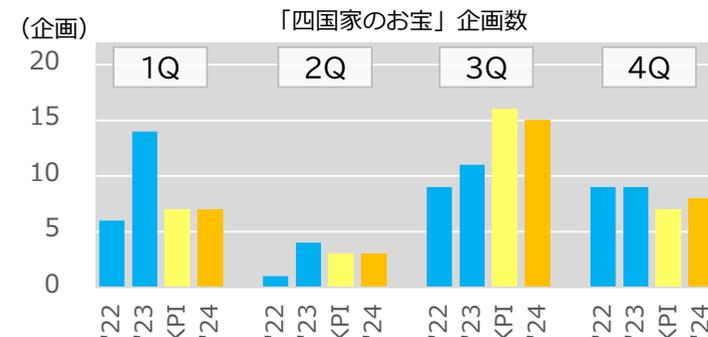
4Q KPI	4Q 実績	達成状況
7企画 (参加人数 160人)	8企画 (参加人数138人)	△

- ◆検証結果
- ・4Qは、3Qで設定できなかった1企画を設定し、企画数についてはKPIを上回りましたが、当日キャンセルや集客不足による催行中止もあり、参加人数については未達成となりました。
 - ・一方で、日高村をはじめとした新たなコンテンツが発掘でき、お客様から高評価でした。また、現地対応型商品※についても問題なく実施できました。

※ツアー当日は自治体スタッフのみで対応する、現地受け入れ態勢の強化を図るもの。(JR四国スタッフは同行しない)

- ◆今後の取組み
- ・四国の関係人口の増加、地域経済の持続的な活性化に寄与できるよう、引き続き地域と協働して「四国家のお宝」の素材の本物性・物語性の再評価、ストーリーづけを実施します。
 - ・ツアー以外にも取組みの幅を広げ、発掘した観光素材や地域産品をJR四国グループや四国家サポーターズクラブのネットワークを活用してPRするなど、自治体に合わせた連携やアウトプットを検討します。

2024年度KGI 《一部達成》
33企画 (参加人数600人)
(実績33企画 (参加人数466人))



⑥ 連結売上高の確保

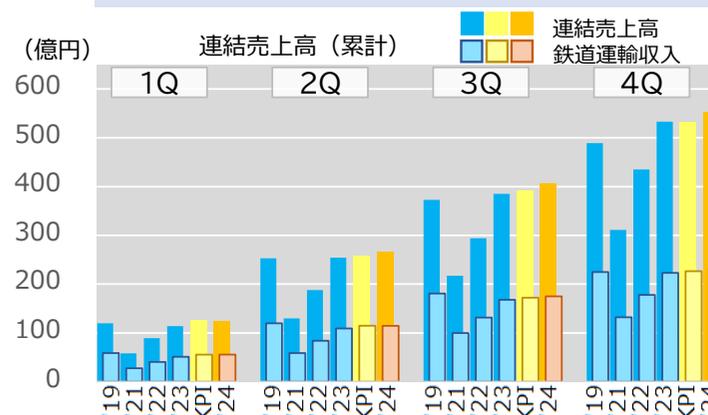
非鉄道事業のさらなる収益拡大に向け、グループ一体となった取組みにより、連結売上高を確保します。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況
累計 532億円 (鉄道運輸収入 226億円)	552億円 (鉄道運輸収入 233億円)	○

- ◆検証結果
- ・あなぶきアリーナ香川での大型イベント開催にあわせた臨時列車の運転や、閑散期の利用促進を図るおトクなフリーきっぷの発売、ものがたり列車の特別運転など、各種施策に取り組み需要確保に努めました。これらにより、鉄道運輸収入は計画を上回ることができました。
 - ・「TAKAMATSU ORNE」や「JR松山駅だんだん通り」では、継続的なイベント開催やキャンペーン展開等に取り組み、にぎわいづくりと収益拡大に努めました。
 - ・建設セグメントにおいては、グループ外からの工事受注に努めました。
 - ・これらの取組みによりKGIを達成しました。

- ◆今後の取組み
- ・今後もグループ一体で収益拡大に向けた各種施策への取組みを継続します。

2024年度KGI 《達成》
532億円 (鉄道運輸収入226億円)
(実績552億円 (鉄道運輸収入233億円))



1. (5) 2024年度第4四半期の実績等

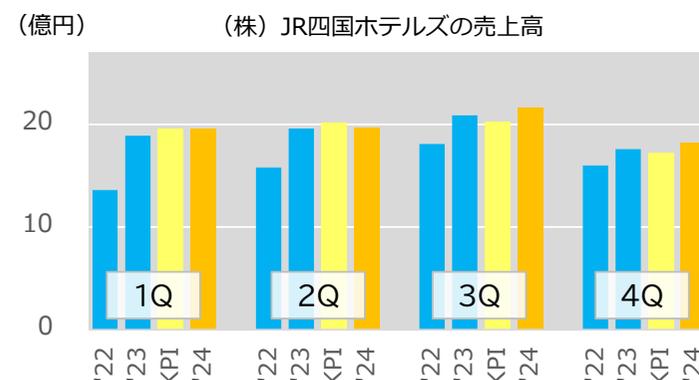
⑦ (株) JR四国ホテルズの売上高

お客様ニーズに対応した安全・安心で上質なサービスの提供に努めます。

4Q KPI	4Q 実績	達成率
17.2億円	18.2億円	105.7%

- ◆ 検証結果
 - 引き続き、好調な訪日外国人客を確実に取り込むとともに、あなぶきアリーナ香川のオープンなど外部環境の変化に柔軟に対応しながら、宿泊部門を中心に売上の確保と拡大に取り組んだ結果、計画を上回ることができました。
- ◆ 今後の取組み
 - 宿泊部門は、引き続き好調な訪日外国人客の積極的な獲得と、レベニューマネジメントシステム等を活用しながら、売上の最大化と収益拡大に取り組めます。
 - レストラン部門は、原材料費が高騰する中、ホテルクオリティを維持しながら、使用食材の見直しや仕入先の変更等により、適正原価の維持に努めます。
 - 宴会部門は、販売価格の見直しや例会料金の改定等により、客単価アップを図り、営業利益確保に努めます。

2024年度KGI **《達成》**
77.5億円 (実績79.2億円)



⑧ TAKAMATSU ORNEのテナント売上高

ターミナル駅の持つポテンシャルを最大限に引き出し、まちの「顔」として人が集い、にぎわいあふれる拠点づくりに努めます。

4Q KPI	4Q 実績	達成率
1,363百万円	1,393百万円	102.2%

- ◆ 検証結果
 - 1~2月は、観光・ビジネスによる土産売上が不振だった事もあり各月実績が計画比で95%を下回るなど低迷しましたが、2月24日、近隣の「あなぶきアリーナ香川」開館以降上昇に転じ、3月は、同アリーナでのライブイベント等による県外客急増による土産売上増や、3月13日~のオルネ1周年イベント効果(人気POPUPの出店等)により計画を大幅に上回った結果、4QのKPIを達成しました。
 - 入館者数についても、これらの効果により、2024年度4月~2月の月平均が692千人のところ、3月は911千人と大幅に増加し、大変多くのお客様にお越しいただきました。
- ◆ 今後の取組み
 - シーズンプロモーション等の展開により、周辺居住者、就業者、駅利用者等に対して来館の動機付けを行い、入館者増と売上増に努めます。具体的には、館内装飾やSNSを活用したプロモーション、店舗の旬な商品・お得な情報のSNS発信、周辺施設等のイベントとの連携等に取り組めます。また、店舗スタッフの陳列・接客等の販売スキルを向上させるため、部外能力を活用しながら各店舗の課題を洗い出し、研修等を活用した改善に努めます。
 - 1年の実績を踏まえ、契約満了等に伴うMD計画を検討し、長期出店テナント誘致のために、テナント誘致活動を継続します。

2024年度KGI **《達成》**
5,276百万円 (実績5,357百万円)



TAKAMATSU ORNE

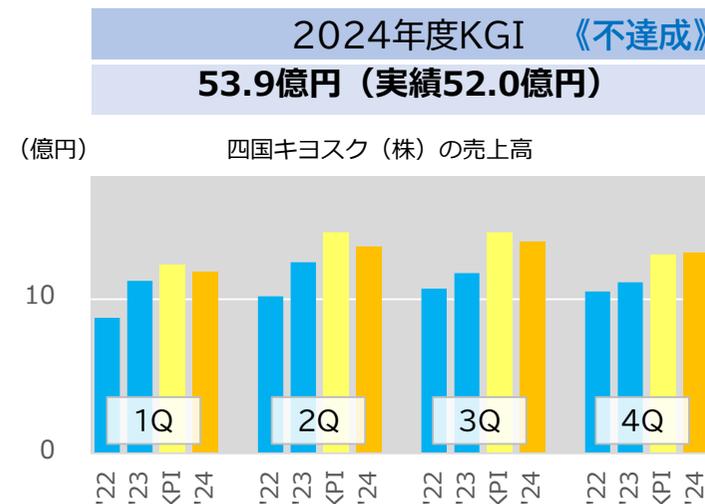
1. (5) 2024年度第4四半期の実績等

⑨ 四国キヨスク（株）の売上高

「お客様第一」の視点で高品質なサービスの提供に取り組みます。

4Q KPI	4Q 実績	達成率
12.9億円	13.0億円	100.5%

- ◆検証結果
- ・コンビニ店舗については、競合店舗との価格競争により苦戦していましたが、4Qは あなぶきアリーナ香川でのコンサート開催と、継続的に取組んでいる「プライチ※」によるリピート客の増加でおおむね計画どおりの売上を確保しました。 ※一品購入するともう一品無料となるサービス
 - ・土産店舗については、店舗増による売上増により4Qの計画値をクリアできました。また、新規商品および話題商品の導入により客単価・利益率ともに増加させることができました。
 - ・TSUTAYA BOOKSTOREについては、シェアラウンジにおいてアルコールプラン割引や2時間利用割引等のチャレンジにより売上増となりました。文具・雑貨においては、競合店舗の影響がありましたが、季節に応じた売場の変更等により売上は確保できました。
- ◆今後の取組み
- ・コンビニ店舗は、訴求効果のある「プライチ」販促の一層のセールスと年間を通じて「基本四原則」「あいさつの徹底」を指導することで、利用客（リピート客、新規顧客）の増加に努めます。
 - ・ハレノヒヤ、Graceful Gift Shop店舗では商社毎の売上高・売上個数の実績を参考に、商品の改廃を積極的に実施します。
 - ・TSUTAYA BOOKSTOREにおいては、SNSの活用や近隣ホテル等への紹介等により売上増に努めます。



⑩ コスト削減の取組み

デジタル基盤の活用や業務の見直し等、省力化・省人化による生産性の向上を図ります。

鉄道事業を中心に要員削減を進め、成長分野へのシフトを図ります。

4Q KPI	4Q 実績	達成状況
JR四国▲48百万円、 グループ会社▲5百万円	JR四国▲108百万円、 グループ会社▲11百万円	○

- ◆検証結果
- (JR四国)
- ・業務のデジタル化による旅費・会議費・印刷コスト等の削減や、安全に影響しない修繕費の見直し等のコスト削減に取り組みました。
- (グループ会社)
- ・各社において、要員の見直しや広告宣伝費の削減等に取り組みました。

- ◆今後の取組み
- ・これまでの施策を継続するとともに、車両部品の検査周期延伸の更なる拡大など新たな施策も検討し、引き続きコスト削減に努めます。

2024年度KGI 《達成》
JR四国▲193百万円、グループ会社▲20百万円
要員削減に向けた取組みの推進（▲70名程度）
(実績：JR四国▲372百万円、グループ会社▲46百万円
要員削減に向けた取組みの推進（▲70名程度）)

2024年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

項目			KPI		実績	達成状況
鉄道運輸収入の安定的な確保	① 鉄道運輸収入の確保 KGI:鉄道運輸収入226億円 実績：233億円 《達成》	運輸収入 (定期)	1Q	12.4億円	12.6億円	101.6%
			2Q	11.9億円	12.2億円	102.1%
			3Q	11.6億円	12.3億円	106.4%
			4Q	10.7億円	11.2億円	104.5%
		運輸収入 (定期外)	1Q	43.0億円	43.0億円	100.0%
			2Q	47.3億円	46.6億円	98.7%
			3Q	45.7億円	48.8億円	106.8%
			4Q	43.5億円	46.4億円	106.7%
	② チケットアプリの定着・拡大 KGI:取扱収入割合（通期） 定期 14.5% 定期外 6.5% 実績：定期 17.2% 定期外 5.6% 《一部達成》	取扱収入割合 (定期)	1Q	12.0%	14.2%	118.3%
			2Q	13.0%	15.9%	122.3%
			3Q	14.0%	17.2%	122.9%
			4Q	20.0%	21.8%	109.0%
		取扱収入割合 (定期外)	1Q	5.0%	5.0%	100.0%
			2Q	6.0%	5.0%	83.3%
			3Q	7.0%	5.8%	82.9%
			4Q	8.0%	6.5%	81.3%
	③ 観光列車を活用した特別企画の実施、 情報発信による流動拡大 KGI:観光列車乗車人員56,500人 実績：56,842人 《達成》		1Q	15,000人	15,214人	101.4%
			2Q	15,000人	14,264人	95.1%
			3Q	16,000人	16,552人	103.5%
			4Q	10,500人	10,812人	103.0%

2024年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

項目		KPI		実績	達成状況
鉄道運輸収入の安定的な確保	④ 利便性向上によるお客様満足の上昇 KGI:車両リニューアル工事の完了、 各種サービス・設備の導入拡大 実績：計画どおり実施 《達成》	1Q	1200型車両リニューアル工事完了（1両）	計画どおり実施済み	○
		2Q	8000系車両リニューアル工事完了（L編成1本）	計画どおり実施済み	○
			1200型車両リニューアル工事完了（1両）		
		3Q	サービス改善アンケートの実施 8000系車両リニューアル工事完了（S編成1本） 1200型車両リニューアル工事完了（1両）	計画どおり実施済み	○
	4Q	デジタルサイネージ導入拡大（11駅） 1200型車両リニューアル工事完了（1両）	計画どおり実施済み	○	
	⑤ 「四国家のお宝」の更なる充実による 観光振興 KGI:33企画（参加人数600人） 実績：33企画（参加人数466人） 《一部達成》	1Q	7企画（参加人数 80人）	7企画（ 82人）	○
		2Q	3企画（参加人数 60人）	3企画（ 68人）	○
		3Q	16企画（参加人数 300人）	15企画（178人）	×
4Q		7企画（参加人数 160人）	8企画（138人）	△	

2024年度第4四半期KPI検証結果（総括表）

項目		KPI		実績	達成状況
非 鉄 道 事 業 に お け る 最 大 限 の 収 益 拡 大	⑥ 連結売上高の確保 KGI:532億円（鉄道運輸収入226億円） 実績：552億円（鉄道運輸収入233億円） 《達成》	1Q	126億円（鉄道運輸収入 55億円）	124億円（ 55億円）	△
		2Q	累計 258億円（鉄道運輸収入114億円）	267億円（114億円）	○
		3Q	累計 392億円（鉄道運輸収入172億円）	406億円（175億円）	○
		4Q	累計 532億円（鉄道運輸収入226億円）	552億円（233億円）	○
	⑦（株）JR四国ホテルズの売上高 KGI:77.5億円 実績：79.2億円 《達成》	1Q	19.6億円	19.6億円	100.0%
		2Q	20.2億円	19.7億円	97.2%
		3Q	20.3億円	21.6億円	106.4%
		4Q	17.2億円	18.2億円	105.7%
	⑧ TAKAMATSU ORNEのテナント売上高 KGI:5,276百万円 実績：5,357百万円 《達成》	1Q	1,254百万円	1,297百万円	103.4%
		2Q	1,280百万円	1,311百万円	102.4%
		3Q	1,379百万円	1,357百万円	98.4%
		4Q	1,363百万円	1,393百万円	102.2%
	⑨ 四国キヨスク（株）の売上高 KGI:53.9億円 実績：52.0億円 《不達成》	1Q	12.2億円	11.8億円	96.5%
		2Q	14.3億円	13.4億円	96.5%
		3Q	14.3億円	13.7億円	95.8%
		4Q	12.9億円	13.0億円	100.5%
⑩ コスト削減の取組み KGI:JR四国▲193百万円、グループ会社▲20百万円 要員削減に向けた取組みの推進（▲70名程度） 実績：コスト削減 JR四国▲372百万円、グループ会社▲46百万円 要員削減に向けた取組みの推進（▲70名程度） 《達成》	1Q	JR四国▲40百万円 グループ会社▲5百万円	JR四国▲75百万円 グループ会社▲13百万円	○	
	2Q	JR四国▲52百万円 グループ会社▲5百万円	JR四国▲96百万円 グループ会社▲12百万円	○	
	3Q	JR四国▲53百万円 グループ会社▲5百万円	JR四国▲90百万円 グループ会社▲16百万円	○	
	4Q	JR四国▲48百万円 グループ会社▲5百万円	JR四国▲108百万円 グループ会社▲11百万円	○	
・ 生 産 性 向 上 ・ 他					

2. 2025年度の主要施策KPI等

(1) 主要施策KPIについて

○中期経営計画2025の最終年度として、今年度の主要施策に対するKPI及びKGIを設定します。

○以下の11項目について、KPI及びKGIを設定し、取り組んでまいります。

(2) 検証項目一覧

	KPI項目
鉄道運輸収入の安定的な確保	① 鉄道運輸収入の確保 (総額) KGIのみ ② 鉄道運輸収入の確保 (定期) ③ 鉄道運輸収入の確保 (定期外) ④ チケットアプリの定着・拡大 (定期) ⑤ チケットアプリの定着・拡大 (定期外) ⑥ 観光列車を活用した特別企画の実施、情報発信による流動拡大
非鉄道事業における 最大限の収益拡大	⑦ 連結売上高の確保 ⑧ (株) JR四国ホテルズの売上高 ⑨ 高松オルネのテナント売上高 ⑩ 四国キヨスク(株)の売上高
生産性向上・その他	⑪ コスト削減の取組み

2. (3) 2025年度のKPI・KGI

①②③ 鉄道運輸収入の確保

当社の収益において最大の割合を占める鉄道事業の収益確保に取り組みます。

事業計画を上回る^{*}チャレンジ目標として、鉄道運輸収入235億円（対2019年度 104.6%）を目指します。

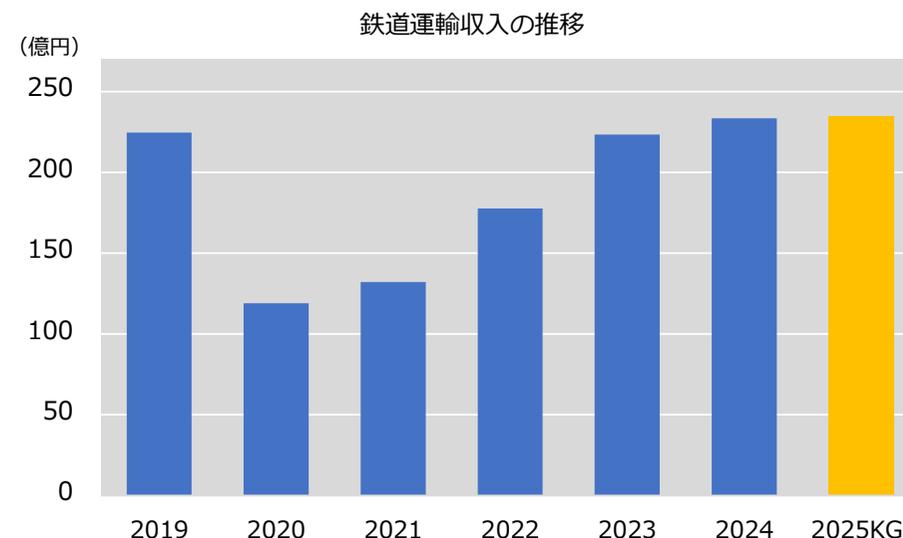
KGI		2024年度実績	
① 鉄道運輸収入	235億円	鉄道運輸収入	233億円

※2025年度事業計画の鉄道運輸収入は230億円

KPI	② 定期収入	③ 定期外収入	2024年度実績	定期収入	定期外収入
1Q	12.4億円	43.7億円	1Q	12.6億円	43.0億円
2Q	12.3億円	47.9億円	2Q	12.2億円	46.6億円
3Q	12.3億円	48.9億円	3Q	12.3億円	48.8億円
4Q	10.9億円	46.1億円	4Q	11.2億円	46.4億円
KGI	48.1億円	186.8億円	通年	48.5億円	185.0億円

主な取組み

- ・「瀬戸内国際芸術祭2025」、「大阪・関西万博」、NHK「あんぱん」放映、「アンパンマン列車運行開始25周年」など、社内外の行事・イベントにあわせた各種施策の展開
- ・ものがたり列車のブランド力強化、トロッコ列車の利用促進
- ・四国内外の流動拡大、四国への誘客促進



④⑤ チケットアプリの定着・拡大

おトクで便利なチケットアプリ「しこくスマートえきちゃん（スマえき）」のご利用定着・拡大に取り組みます。

乗車券類の発売枚数（当社内完結）に占めるスマえきの割合について、KPI・KGIを設定します。

KPI	④ 定期	⑤ 定期外	主な取組み	2024年度実績	定期	定期外
1Q	24.0%	5.5%		各種取組みによりご利用の定着。拡大を図る。 ・積極的な情報発信によるアプリ登録者数の増加 ・アプリ体験会の実施 ・アプリ限定商品の発売 ・新入生（高校生）に対して、スマえき定期券の一括発売を実施	1Q	14.3%
2Q	25.0%	5.7%	2Q		15.4%	4.1%
3Q	26.0%	5.9%	3Q		16.8%	5.0%
4Q	29.0%	6.1%	4Q		20.0%	5.5%
KGI	26.0%	5.8%	通年		16.6%	4.6%

2. (3) 2025年度のKPI・KGI

⑥ 観光列車を活用した特別企画の実施、情報発信による流動拡大

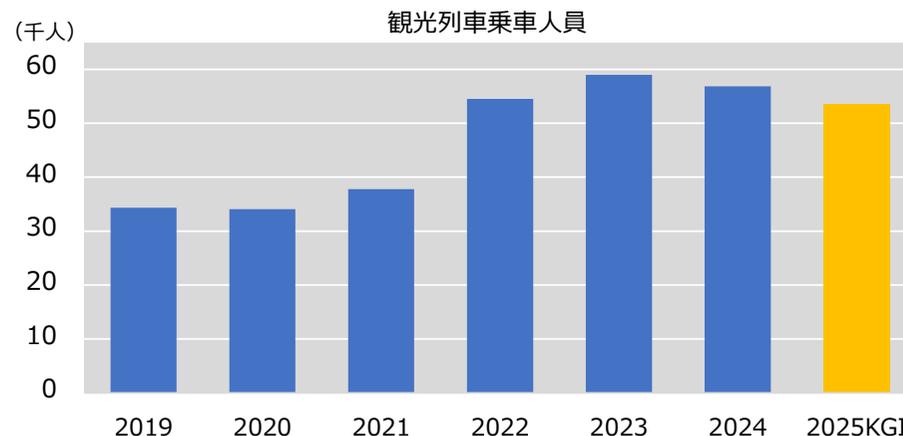
ものがたり列車、藍よしのがわトロッコの乗車人員について、KPI・KGIを設定します。

主な施策として、以下に取り組みます。

- ・ 飲食メニューやグッズ、車内サービスのブラッシュアップ
- ・ 特別企画や各種記念イベントの実施
- ・ パブリシティやSNSを効果的に活用した積極的な情報発信

KPI	観光列車乗車人員※	2024年度実績	観光列車乗車人員
1Q	14,500人	1Q	15,214人
2Q	15,000人	2Q	14,264人
3Q	15,000人	3Q	16,552人
4Q	9,000人	4Q	10,812人
KGI	53,500人	通年	56,842人

※車両の定期検査（伊予灘ものがたり、夜明けものがたり、それぞれ約1カ月間入場）により運行できない期間があることを踏まえて設定しています。



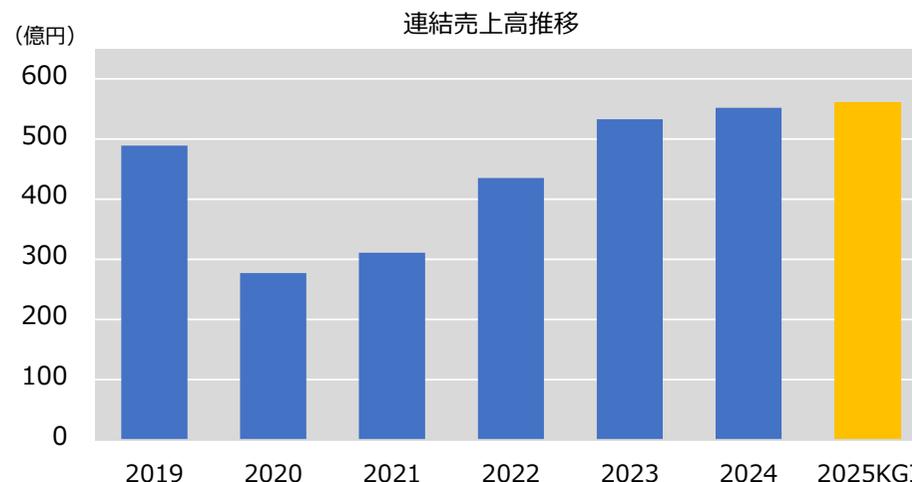
⑦ 連結売上高の確保

非鉄道事業のさらなる収益拡大に向け、グループ一体となった取組みにより、連結売上高を確保します。

KPI	連結売上高(累計)※	2024年度実績	連結売上高(累計)
1Q	130億円	1Q	124億円
2Q	269億円	2Q	267億円
3Q	409億円	3Q	406億円
4Q	560億円	4Q	552億円
KGI	560億円	通年	552億円



※JR四国グループ事業計画2025に基づきます。
2025年3月24日に株式取得した四国医療器(株)については、経営統合を行っている途上であることから、KPI・KGIに含んでいません。



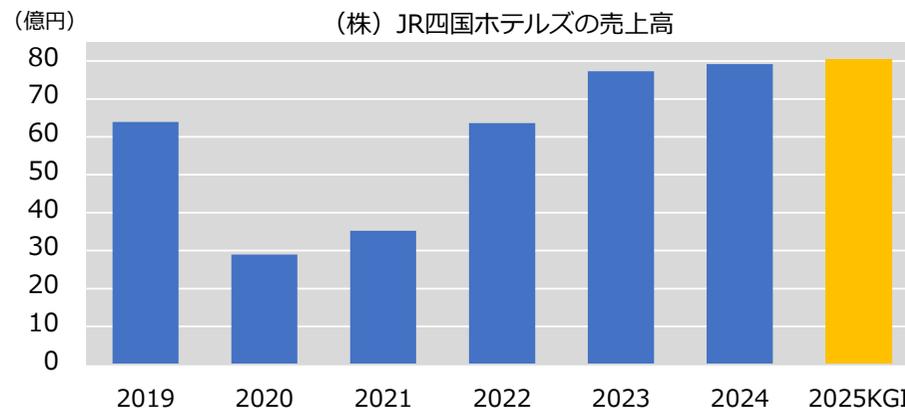
2. (3) 2025年度のKPI・KGI

⑧ (株) JR四国ホテルズの売上高

(株) JR四国ホテルズの売上高について、KPI・KGIを設定します。

- ・お客様ニーズに対応した安全・安心で上質なサービスの提供に努めます。

KPI	売上高	2024年度実績	売上高
1Q	19.2億円	1Q	19.6億円
2Q	20.8億円	2Q	19.7億円
3Q	21.9億円	3Q	21.6億円
4Q	18.3億円	4Q	18.2億円
KGI	80.4億円	通年	79.2億円



⑨ 高松オルネのテナント売上高

高松オルネのテナント売上高について、KPI・KGIを設定します。

- ・まちの「顔」として人が集い、にぎわいあふれる拠点づくりに努めます。

KPI	テナント売上高(全館)	2024年度実績	テナント売上高(全館)
1Q	14.8億円	1Q	12.9億円
2Q	14.4億円	2Q	13.1億円
3Q	14.5億円	3Q	13.5億円
4Q	13.8億円	4Q	13.9億円
KGI	57.6億円	通年	53.5億円



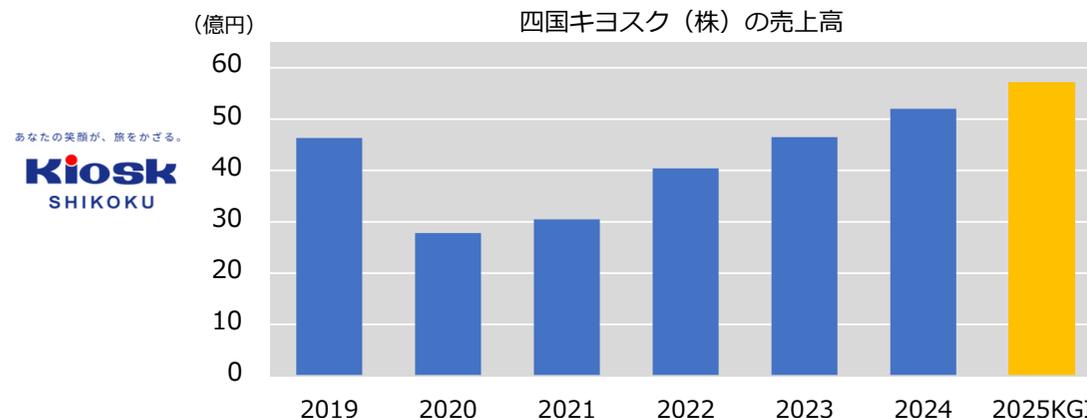
2. (3) 2025年度のKPI・KGI

⑩ 四国キヨスク（株）の売上高

飲食・物販セグメントの中心事業である 四国キヨスク（株） の売上高について、KPI・KGIを設定します。

- ・「お客様第一」の視点で高品質なサービスの提供に取り組みます。

KPI	売上高	2024年度実績	売上高
1Q	12.2億円	1Q	11.8億円
2Q	14.0億円	2Q	13.4億円
3Q	15.1億円	3Q	13.7億円
4Q	14.8億円	4Q	13.0億円
KGI	56.3億円	通年	52.0億円



⑪ コスト削減の取組み

グループを挙げてコスト削減に取り組みます。

- ・デジタル基盤の活用や業務の見直し等、省力化・省人化による生産性の向上を図ります。
- ・鉄道事業を中心に省人化を進め、成長分野へのシフトを図ります。

KPI	
1Q	コスト削減（JR四国 47百万円、グループ会社 5百万円）
2Q	コスト削減（JR四国 54百万円、グループ会社 5百万円）
3Q	コスト削減（JR四国 60百万円、グループ会社 5百万円）
4Q	コスト削減（JR四国 59百万円、グループ会社 5百万円）
KGI	コスト削減（JR四国 219百万円、グループ会社 20百万円） 省人化に向けた取組みの推進（数値は今後精査）